

《教育関係について》

◎ 教育委員会事業

(1) 定例会・臨時会開催日数

総務課

事業概要	定例会は原則、毎月第2火曜日に開催することと規則で定めており、付議事件を告示して招集し、教育委員会の権限に属する全てを審議する。 臨時会は、随時付議事件を告示して招集し、告示された事件について審議する（急施を要するものを除く）。													
	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
傍聴人数	定例会	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	臨時会	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0人	0人	0人
臨時会の回数		0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	1回	1回	2回

(2) 付議事件関係

総務課

区分	教 育 長 提 出					年 間 延 べ 数
	条 例 改 正 案 等	規 則 訓 令 ・ 等	予 算 案	人 事	そ の 他	
定 例 会	0件	1件	7件	8件	4件	20件
臨 時 会	0件	1件	0件	2件	0件	3件
合 計	0件	2件	7件	10件	4件	23件

※ 「その他」には、教育委員会の方針決定等を含む。

(3) 付議事件の結果関係

総務課

区分	教 育 長 提 出				年 間 延 べ 数
	原 案 可 決	修 正 可 決	否 決	そ の 他	
定 例 会	20件	0件	0件	0件	20件
臨 時 会	3件	0件	0件	0件	3件
合 計	23件	0件	0件	0件	23件

※ 「原案可決」には、承認・認定・同意を含む。

(4) 教育委員会視察活動

総務課

事業目的	視察回数	視察会場	視察目的	事業成果
教育委員会定例会議を市内小・中学校や社会教育施設で開催し、現場の視察や施設長から運営状況等を聞くことで、現状把握のための情報収集等を行うことができる。	2回	八代小学校 (10月14日)	幸手市立八代小学校の運営状況等について	机上の報告書だけではなく、教育活動現場を視察し、生の声を聞くことで、教育施設を取り巻く環境やさまざまな活動を確認し、活発な意見交換を行うことができた。
		郷土資料館 (1月17日)	幸手市郷土資料館の運営状況等について	

(5) 定例会協議事項

総務課

事業目的	協議事項議題	定例会開催日
教育に係る諸課題・諸問題等について、調査・研究を行い、テーマを定めて協議を行うとともに、先進地事例から学ぶことで教育の質の更なる向上を図る。	ICTを活用した今後の教育	令和4年5月17日
	「令和3年度幸手市教育行政重点施策」の期末報告	令和4年6月21日
	ICT機器の活用と実践	令和4年7月12日
	社会教育の調査研究報告について	令和4年8月16日
	幸手市における令和の教育像	令和4年9月20日
	令和4年度幸手市教育行政重点施策（上半期）進捗状況について	令和4年10月14日
	コロナの現状と子どもたちの対策	令和4年12月20日
	幸手市郷土資料館の運営状況等について	令和5年1月17日
	いじめの諸問題について	令和5年2月14日
	令和4年度の振り返り	令和5年3月14日

◎ 総合教育会議

総務課

事業概要		総合教育会議は、市長と教育委員会とが相互の連携を図り、重点的な施策等についての協議を行う。	
開催月	協議・調整事項	傍聴人数	
11月	幸手市の教育行政の諸課題	0人	
2月	当面する教育上の諸課題	0人	

◎ 教育審議会事業

(1) 審議会開催状況

総務課

事業概要	審議会は、幸手市教育委員会の附属機関として、委員会の諮問に応じて幸手市における教育、文化に関する重要施策について調査審議し、これに答申する。												
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
開催回数			2回	1回	1回	0回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	10回
傍聴人数			0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	1人
事業成果	幸手市における小・中学校の適正規模・適正配置等に関する目安をまとめ、「幸手市小・中学校適正配置・適正規模等に関する基本方針（素案）」を策定し、教育委員会に答申した。												

◎ 児童生徒健全育成事業

学校教育課

事業目的	事業概要	事業成果
いじめ、不登校、非行、問題行動等の生徒指導の諸課題を協議し、健全育成に資する。	幸手市教育相談連絡会 学校ごとに年3回以上の実施参加者 校長、教頭、生徒指導主任、教育相談主任、指導主事、スクールソーシャルワーカー等	生徒指導上の諸課題について認識を深めるとともに、児童生徒の健全育成に寄与した。

◎ 幸手市いじめ問題対策連絡協議会

学校教育課

事業目的	事業概要	事業成果
いじめ防止対策推進法の規定に基づき、幸手市いじめ問題対策連絡協議会を置く。	・11月1日～11月15日 幸手市いじめ防止強化期間 ・幸手市いじめ問題対策連絡協議会を2回実施。 「学校生活アンケート」の結果について (事業費 47,600円)	いじめ防止強化期間を市民に周知するため、のぼり旗を掲示した。 市内小・中学校の全児童生徒にいじめ防止のための標語を作成してもらい、最優秀賞、優秀賞に表彰した。また、標語を記したクリアファイルを作成配布した。

◎ 学力向上推進事業

学校教育課

事業目的	事業概要	事業成果
学力調査を通して、児童生徒の課題や学習内容の定着状況を把握し、課題に応じた施策を通して学力の向上を図る。	児童生徒の学力課題を把握するために市内一斉の学力調査を実施する。(小1～中2) 小1～小6 国語、算数 中1～中2 国語、数学、英語、理科、社会 (事業費 2,852,733円)	令和3年度の幸手市統一学力調査から、中学生の受検科目数を3教科から5教科としており、学習内容の定着状況を把握し、学力の向上が図れた。また、指導方法の工夫改善が図れた。

◎ 教育支援員等の配置

学校教育課

事業名	事業目的	配置場所数	事業成果
教育支援員配置事業	障害のある児童生徒及び学習に課題のある児童生徒の在籍する学級を有する学校において、児童生徒の生命の安全を確保するとともに、生活指導、学習指導の充実を図る。	小学校 9校 19人 中学校 3校 8人 (事業費49,054,992円)	各学校における生活指導及び学習指導の充実を図ることができた。また、特別支援学級への配置により、個に応じた合理的配慮を充実させることができた。
さわやか相談員配置事業	いじめ、不登校等について、児童生徒及びその保護者からの相談に応じるとともに、学校、家庭及び地域社会と連携し、健全な児童生徒の育成を図る。	中学校 3校 3人 (事業費 6,753,319円)	いじめ、不登校等について、児童生徒及びその保護者からの相談に応じ、さらに学校、家庭及び地域社会と連携し、健全な児童生徒の育成が図れた。
教育相談員・心すこやか支援員配置事業	いじめ、不登校等について、児童生徒及びその保護者からの相談に応じるとともに、不登校児童生徒が学校復帰を目指すための学習・生活面の支援を行い、教育相談体制の充実を図る。	心すこやか支援室 教育相談員 1人 心すこやか支援員 4人 (事業費 6,367,924円)	いじめ、不登校等について、児童生徒及びその保護者からの相談に応じ、不登校児童生徒が学校復帰を目指すための適応指導を施し、教育相談体制の充実が図れた。
日本語指導員配置事業	市内小・中学校の児童生徒のうち、外国語を母語とする児童生徒の学習指導等に対応するため、日本語指導員を配置し学力の向上を図る。	市内小・中学校 3人 (事業費 905,952円)	外国語を母語とする児童生徒の学習指導・生活指導等に担任や教科担任と連携して「個に応じた支援」を行い、学習の充実が図れた。
ふれあい相談員配置事業	市内小・中学校におけるいじめや不登校の児童生徒及び保護者との相談に応じるとともに、学校、家庭、地域との連携を図るため、ふれあい相談員を配置し、健全な児童生徒の育成を図る。	市内中学校区 3人 (事業費2,204,224円)	幸手市さわやか相談員と連携し、児童生徒との相談・援助を行うことで、不登校傾向のある児童生徒の心の安定や学習の充実が図れた。

◎ 道徳教育推進事業

学校教育課

事業目的	事業概要	事業成果
<p>児童生徒の豊かな心をはぐくむため、道徳教育に係る外部講師を招き、教員の指導力向上を図るとともに、幸手市郷土資料「道徳のまち さって」「道徳のまち さって ハンドブック」を活用し、道徳教育の推進を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育推進協議会議を4回開催 ありがとう作文コンクールを小・中学校で実施 道徳週間における講演会 (事業費 1,554,326円) 	<p>道徳教育の成果を一層高めるため、「幸手市道徳教育推進協議会議」を設置し、学校、家庭、地域が連携し、取組を展開した。</p> <p>ありがとう作文の作成において、児童生徒は身近な人や、体験したことをもとに感謝の気持ちを文面に込めた。各校から素晴らしい作品が集まり、最優秀賞、優秀賞を選出し、表彰した。市役所、幸手駅自由通路、公民館にて作品展示した。</p>

◎ 外国青年招致事業

学校教育課

事業目的	事業概要	事業成果
<p>市内中学校の英語指導及び小・中学校の外国語活動の充実を図るため、語学指導助手（ALT）として外国青年を招致する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 外国青年招致 8人 市内中学校の英語指導 国際理解教育の推進 市内小学校の外国語活動の指導 (事業費 36,702,338円) 	<p>児童生徒が英語の授業に対して主体的に、楽しく取り組み、コミュニケーション活動が更に充実し、英語学習への動機づけを図ることができた。小学校における外国語活動の充実を図ることができた。</p>

◎ さってアフタースクール事業

学校教育課

事業目的	事業概要	事業成果
<p>児童の学力向上、学習の習慣化のため、放課後の教室を利用して、地域の教員OBなどが国語・算数を中心に、授業の復習や宿題の支援等、児童へ学習支援を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 対象者 市内9校の小学校3～6年生 開催回数 465回 参加人数 344人 講師人数 27人 (事業費 10,766,450円) 	<p>アフタースクールを実施することで、学習習慣の定着を図る一助になった。個に応じたきめ細かい指導を実施することで、多くの児童に達成感や学ぶ楽しさを味わわせることができた。</p>

◎ 体力向上推進事業

学校教育課

事業目的	事業概要	事業成果
<p>市内小・中学校に体力向上に関する研究を委嘱したり、ロードレース大会を開催するなど、児童・生徒の体力の向上を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 研究委嘱関係 吉田小学校 八代小学校 西中学校 委員会関係 体力向上推進委員会 6回 大会関係 小学校ロードレース大会 (事業費 77,223円) 	<p>体育授業におけるICT活用事例など委嘱校の実践をもとに市内で共有することができた。小学校ロードレース大会を実施し、児童の意欲を高めることができた。さらに、新体力テストの分析を通して体力の現状を把握し、次年度の課題を明確にすることができた。</p>

◎ 学校給食調理業務委託事業

総務課

事業目的	委託校	事業概要	事業成果
学校給食調理業務を効果的・効率的に運営し、安心・安全な給食を提供する。	全小・中学校 (小学校9校) (中学校3校)	学校給食(自校調理方式)における調理業務を民間業者に委託する。 (事業費219,254,926円)	民間委託を推進することで、効果的・効率的に給食調理業務を運営することができた。

◎ 学校給食関係事業

総務課

事業目的	学校給食の安全向上のため、学校栄養士及び食品の細菌検査等を実施する。		
検査名等	対象	事業概要	事業成果
検便検査	学校栄養士等 13人	サルモネラ菌・赤痢菌・病原性大腸菌O-157検査 (事業費88,946円)	検査、講習会を通して、学校給食食材の安全及び衛生管理の徹底を図れた。
給食食品検査	給食食材 29検体	給食食材の検査(サルモネラ菌・病原性大腸菌O-157検査) (事業費130,790円)	

◎ 小・中学校プール水水質検査

総務課

事業目的	事業概要	事業成果
学校プールは、一時に多くの児童生徒等が利用することから、水を介した感染症を予防するための衛生的な管理を行う。	プール期間中に、プール水の水質検査(トリハロメタン等)を実施する。 (事業費260,040円)	プール水の水質検査を通して衛生管理の徹底を図れた。

◎ 保健・健康事業

総務課

事業目的	学校保健安全法に基づき、児童、生徒及び教職員の健康管理のため、各種検診を実施する。		
検診名	検診対象者	事業概要	事業成果
心臓検診	小学校 1・4年生 中学校 1年生	心電図、医師の問診等による検診 (事業費 2,358,400円)	受診者数 1,072人 受診率 99.6%
尿検査	小・中学校 全児童・生徒	検尿による尿糖、タンパク等の検査 (事業費 785,290円)	受診者数 3,245人 受診率 99.2%
小児生活習慣病 予防健診	小学校 4年生	採血、血圧、医師の問診等による検査 (事業費 1,025,640円)	受診者数 333人 受診率 97.9%
脊柱側彎症 ^{わん} 検診	中学校 1年生	モアレトポグラフィー法による検査 (事業費 300,300円)	受診者数 390人 受診率 97.9%
結核検診	児童・生徒 (要精密検査 受診者) 教職員	児童・生徒 胸部X線撮影による精密検査 教職員 胸部X線撮影 (事業費 242,440円)	児童・生徒 7人 教職員 121人
健康診断 胃がん検診 大腸がん検診	教職員	健康診断・胃部X線撮影・便潜血反応検査 (事業費 1,263,508円)	健診受診者数 117人 胃がん受診者数 18人 大腸がん受診者数 35人

◎ 学校給食費補助金（指定補助）

総務課

事業目的	多子世帯の学校給食費を援助することで保護者の経済的負担を軽減し、子育て支援の推進を図る。					
区分	第2子	金額	第3子以降	金額	合計	金額
市内小学生	630人	10,660,604円	93人	3,163,515円	723人	13,824,119円
市内中学生	69人	1,313,200円	0人	0円	69人	1,313,200円
特別支援学校 (小・中学生)	2人	42,675円	0人	0円	2人	42,675円
合計	701人	12,016,479円	93人	3,163,515円	794人	15,179,994円
事業成果	保護者の経済的負担を軽減し子育て支援の推進が図れた。					

◎ 学校給食物価高騰負担軽減補助事業

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業)

総務課

事業目的	事業費	事業成果
物価高騰による給食費の値上げ分を負担する。	市内小・中学校 12校 計 3,598,100円	物価高騰による給食費の値上げ分を補助することで、保護者への給食費請求額は据え置きにすることができた。
物価高騰により家計が厳しい状況となったことから、子育て支援の一環として令和5年1月から3月の給食費を無償化する。	市内小・中学校 12校 43,570,700円 特別支援学校 453,750円 計 44,024,450円	給食費を無償化することで、物価高騰による家計への影響を抑え、子育て中の家庭を支援することができた。
事業費合計	47,622,550円	

◎ 就学援助及び特別支援教育就学奨励事業

学校教育課

(1) 就学援助事業

事業目的	認定数	支給者及び援助額	事業成果
経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、義務教育の円滑な実施を図るために必要な援助を行う。	児童生徒 585人 就学予定児童 35人	学用品費等 585人 25,700,812円 学校給食費 585人 20,203,289円 新入学学用品費 35人 1,892,100円	保護者の義務教育に係る費用の経済的な負担を軽減することにより、対象児童生徒に円滑な義務教育が実施できた。

(2) 特別支援教育就学奨励事業

事業目的	認定数	援助額	事業成果
特別支援学級へ就学する児童生徒の保護者に対して経済的負担を軽減するために、特別支援学級への就学のための必要な経費の一部を援助する。	60人	2,020,404円	特別支援学級へ就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の普及奨励が図れた。

◎ 入学準備金貸付事業

学校教育課

事業目的	貸付者数及び貸付金額	事業成果
高等学校、大学及び専修学校への入学を希望する者の保護者で、入学準備金の調達が困難な者に対して、教育を受ける機会を与えることを目的として、貸付事業を行う。	大 学 2件 専修学校 2件 高等学校 3件 2,500,000円	保護者の経済的な負担を軽減すると共に、高等学校、大学に入学を希望する者に対し、教育を受ける機会を与えることができた。

◎ 小・中学校オンライン学習推進事業

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業)

総務課

事業目的	新型コロナウイルス感染症の感染対策等を徹底しながら、児童・生徒の学習を保障するために必要な設備等を整備する。	
事業概要	新型コロナウイルス感染症の感染対策のため、各家庭にしながら、あるいは1学級を複数の教室に分散するなどといった場面で、タブレット端末が活用できるようにハード面・ソフト面を整備する。	
事業費	オンライン授業用大型提示装置 14台	5,566,000円
	プログラミング教育ソフト借上料	1,871,100円
	GIGAスクール用学習支援ソフト使用料	21,175,000円
	Webフィルタリングソフト使用料	3,663,000円
事業成果	感染対策等を徹底しながら、児童・生徒の学習を保障することができた。	

◎ 学校等における感染症対策等支援事業

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業)

総務課

事業目的	事業費	事業成果
各学校が児童生徒の安心安全な学習環境を確保しつつ教育活動を着実に継続するため、学校の感染症対策等を講じる取組及び児童生徒の学びの保障をするための取組を実施するに当たり、校長の判断で迅速かつ柔軟に対応することができるよう、学校教育活動の円滑な運営を支援する経費を補助する。	幸手小学校 1,053,276円 権現堂川小学校 1,042,002円 上高野小学校 1,058,007円 吉田小学校 1,052,167円 八代小学校 1,044,035円 行幸小学校 1,563,327円 長倉小学校 2,141,175円 さかえ小学校 1,062,513円 さくら小学校 1,590,773円 幸手中学校 1,611,167円 東中学校 1,047,920円 西中学校 2,088,366円	学校教育活動の着実な継続のため、密閉・密集・密接を回避し、児童生徒・教職員等の感染症対策に必要な物品の購入等に係る経費を支援するとともに、児童生徒の学びの保障のため、感染の状況や児童生徒の状況に応じた学校での教育活動や家庭学習を実施する際に生じる経費を支援したことで、安心・安全な環境を整備するとともに、児童・生徒の学習を保障することができた。

◎ 学校施設三密回避対応事業

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業)

総務課

事業目的	新型コロナウイルス感染症の感染対策等を徹底しながら、児童・生徒の学習を保障するために衛生的な教育環境を整備する。													
事業概要	学校施設内において三密状態となる機会を減らすために必要となる設備を改修する。													
事業費	<table border="0"> <tr> <td>換気扇交換工事</td> <td>6校</td> <td>566,500円</td> </tr> <tr> <td>照明器具交換工事</td> <td>1校</td> <td>568,700円</td> </tr> <tr> <td>水栓交換工事</td> <td>7校</td> <td>1,333,860円</td> </tr> <tr> <td>空調機圧縮機交換工事</td> <td>1校</td> <td>715,000円</td> </tr> </table>		換気扇交換工事	6校	566,500円	照明器具交換工事	1校	568,700円	水栓交換工事	7校	1,333,860円	空調機圧縮機交換工事	1校	715,000円
換気扇交換工事	6校	566,500円												
照明器具交換工事	1校	568,700円												
水栓交換工事	7校	1,333,860円												
空調機圧縮機交換工事	1校	715,000円												
事業成果	感染対策等を徹底しながら、児童・生徒の学習を保障することができた。													

◎ GIGAスクールネットワーク回線運用事業

総務課

事業目的	事業費	事業成果
児童・生徒が活用するタブレット端末などの教育ICT機器がインターネットにスムーズに接続できるよう必要な通信ネットワークを運用する。	通信運搬費（光回線使用料） 小学校 9校 1,045,440円 中学校 3校 348,480円	児童・生徒が活用するタブレット端末などの教育ICT機器がインターネットにスムーズに接続され、必要な学習を行うことができた。

◎ 人材バンク（さって市民生きがい教授）設置事業

社会教育課

事業目的	生涯学習の機会を広げるために、様々な分野の指導者の登録を行い、誰もが活用できるよう情報提供を行う。
登録者数	52人
事業成果	指導者に関する詳しい情報をホームページ等で公開することで、学習機会を求める市民に対して情報を入手しやすい環境を整備することができた。

◎ 家庭教育学級補助金（指定補助）

社会教育課

事業目的	保護者が自信をもって子育てをするために、相互の交流親睦を深め、仲間づくりを行いながら様々な学習に取り組む場を設ける。				
期間	令和4年4月～令和5年2月				
運営主体	各家庭教育学級が自主的に実施				
開設団体数	団体数：6団体 補助金合計：119,975円 ※補助上限額は1団体あたり27,000円				
事業内容	学級開設団体名	対象	回数	延べ参加者数	学習領域
	幸手小学校PTA	会員	4回	69人	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの生活習慣に関すること ・子育てに関すること ・教育に関すること ・社会環境に関すること
	上高野小学校PTA	会員	3回	58人	
	行幸小学校PTA	会員	1回	10人	
	幸手さくら幼稚園保護者の会	会員	4回	82人	
	第二幸手幼稚園母の会	会員	1回	42人	
	幸手ひまわり幼稚園保護者会	会員	1回	35人	
	合 計			296人	
事業成果	保護者が各学級に参加することで、子育てや教育に関する知識を習得しながら、相互に交流を図り、仲間づくりを進めることができた。				

◎ 社会教育関係団体の概要と補助金（一般補助）

社会教育課

事業目的	青少年育成や文化活動など社会教育に関する団体の活動を支援するために補助金を交付する。			
交付実績	団体名・代表者名	主な活動	会員数等	交付額
	幸手市子ども会 育成連絡協議会 会長 吉良 英敏	健康ダンス活動 もちつき大会 そり事業（※）	権現堂川地区 ほか	450,000円
	幸手市連合婦人会 会長 森泉 美江子	中央学級 各種大会協力 ボランティア活動	3地区婦人会 (行幸・上高野・ 幸手)	218,000円
	幸手市文化団体連合会 会長 中村 恒雄	文連作品展 広報紙での作品発表 文連だより発行 文連発表会	38団体・5連合 738人 指導部 23人	729,000円
	幸手市PTA連合会 会長 熊谷 真理子	PTA連合会だより発行 交通安全ポスターコン クール	12単位PTA 小学校 9校 中学校 3校	38,609円
	幸手市人権教育推進協議会 会長 山西 実	人権教育研修会	76人	706,000円
	幸手市郷土芸能保存会 会長 吉田 清	大杉ばやし 後継者育成事業（※） 郷土芸能大会（※）	2団体（松石 ・高須賀）	55,000円
	ボーイスカウト幸手団 連絡協議会 代表 中村 行生	クリスマス会 ハイキング 指導者研修訓練キャンプ	22人	170,000円
	幸手市青少年相談員協議会 代表 長野 廣彬	勾玉づくり バスツアー（※） 清水公園事業（※） デイキャンプ（※）	8人	0円
	幸手市公民館クラブ 連絡協議会 会長 小田 信博	美化運動 公民館まつり (展示部門) (発表部門) (囲碁大会)	12クラブ 104人	81,000円
事業成果	関係団体に補助金を交付することで、事業運営を支援することができ、社会教育活動の推進が図れた。			

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

◎ 社会教育委員

社会教育課

事業目的	社会教育に関する計画の立案及び教育委員会の諮問に応じるために必要な研究調査等を行う。	
事業内容	期日・会場	内 容
	4月26日 市役所第2会議室	第1回幸手市社会教育委員会議 (1) 研究の調査・まとめについて (2) 今後の活動について
	5月18日 吉川市中央公民館	埼玉葛郡市社会教育振興会総会・研修会 (1) 3年度事業報告・4年度事業計画等について (2) 研修会（講演会）
	5月24日 市役所第1会議室	第2回幸手市社会教育委員会議 (1) 研究の調査・まとめについて (2) 今後の活動について
	5月27日 国立女性教育会館	埼玉縣市町村社会教育委員連絡協議会総会・研修会 (1) 3年度事業報告・4年度事業計画等について (2) 研修会
	6月17日 市役所第2会議室	第3回幸手市社会教育委員会議 (1) 研究の調査・まとめについて (2) 今後の活動について
	7月20日 市役所第2会議室	第4回幸手市社会教育委員会議 (1) 研究の調査・研究の製本 (2) 今後の活動について
	8月16日 市役所第2会議室	幸手市教育委員会定例会 (1) 研究の調査・まとめ報告 第5回幸手市社会教育委員会議 (1) 幸手市文化祭展示の計画について
	9月16日 市役所第2会議室	第6回幸手市社会教育委員会議 (1) 幸手市文化祭展示・役割分担について (2) 今年度の活動計画について
	10月11日 市役所第2会議室	第7回幸手市社会教育委員会議 (1) 幸手市文化祭展示について
1月25日 羽生市 産業文化ホール	東部地区社会教育関係委員・職員研修会 (1) 実践発表「羽生市・松伏市」 (2) 講演会	
事業成果	社会教育に関する現状と課題について、調査研究を行うとともに、問題の解決に向けた今後の方向性を示すことができた。	

◎ すこやか子育て講座開催事業

社会教育課

事業目的	核家族化やコミュニティ意識の希薄化による家庭教育力の低下を改善するため、小学校入学前の子どもを持つ保護者を対象に、家庭教育に関する講話や意見交換など、子育てについて学べる機会を設ける。				
謝金	7,000円×9校（市内小学校） 合計 63,000円				
対象	令和5年度新1年生の保護者				
事業内容	学校名	開催日	テーマ	講師名	参加者数
	幸手小	10月4日	子供の自立心をはぐくむ家庭教室	島田 雪子	33人
	吉田小	10月5日	入学前の家庭生活について	望月 光子	9人
	長倉小	10月5日	幼児の発達 ～ことばの側面から～	田尻恵美子	60人
	権現堂川小	10月6日	親の役割 ～子供の自立に向けて～	島田 雪子	5人
	八代小	10月6日	入学前の家庭生活について	望月 光子	11人
	さくら小	10月6日	入学前の子育てについて	関 千代子	57人
	行幸小	10月12日	小学校入学までに～家庭で準備したいこと～	望月 光子	33人
	上高野小	10月13日	親の役割 ～子供の自立に向けて～	島田 雪子	37人
	さかえ小	10月13日	もうすぐ1年生 ～入学前に準備しよう～	山根 珠江	8人
	合 計				
事業成果	小学校入学前の子どもの状態や保護者の心構えなどを学ぶことにより、子育てに必要な知識等を習得することができた。				

◎ 子ども大学さって開催事業

社会教育課

事業目的	地域にある大学等と連携し、子どもの知的好奇心や探究心を育み、郷土への親しみ、関心を高めるため、「子ども大学さって」を開催する。				
対象	小学3年生～6年生				
事業内容		期日・会場	内 容	講 師 名	参加者数
	第1回	1月28日 日本医療保健大学北キャンパス	講義「紙パンツ、解体新書」一紙パンツをばらして秘密を探ろうー	日本医療保健大学教授 上本野 唱子	11人
	第2回	2月4日 日本医療保健大学北キャンパス	幸手の海と綿のはなしことさんと白いさぎ貝のストラップ作り	幸手市郷土資料館館長・学芸員	10人
	第3回	2月11日 西公民館大会議室	体験「子ども大工さん」	株式会社芦葉建設代表取締役 芦葉 武尊	14人
	第4回	2月18日 日本医療保健大学南キャンパス	講義「ヒトのからだのふしぎ」	日本医療保健大学助手 石井 智也	13人
事業成果	大学の雰囲気味わうとともに、幸手の歴史を知り郷土への愛着を深め、また、提供された素材をもとに自ら考え作品づくりするなど、子どもたちが達成感を味わうことができた。				

◎ 放課後子ども教室開催事業

社会教育課

事業目的	放課後の時間に小学生を対象にして、地域の協力により、スポーツ・文化などさまざまな体験の場を設け、知識・体力の向上を図りながら交流を深める。			
対象	小学生児童（吉田小学校）			
事業内容	学 校 名	内 容	実 施 期 間	参 加 者 数
	吉田小学校	卓球教室	4月～3月（全24回）	延べ 285人
	吉田小学校	和太鼓教室	4月～3月（全16回）	延べ 142人
事業成果	吉田小学校において、地域の協力を得ながら、スポーツや文化活動を体験することができ、知識・体力の向上が図れた。			

◎ 青少年健全育成事業

社会教育課

事業目的	次世代を担う青少年の健全育成を図るために、「青少年育成推進員」と協力し相互の連絡調整や健全育成啓発活動などを行う。	
事業内容	期日・会場	内 容
	5月25日 市役所 第1会議室	【総会】 (1) 令和3年度活動状況報告 (2) 令和4年度年間活動計画について
	5月25日 市役所 第1会議室	【第1回会議】 (1) 青少年育成推進員の活動について (2) 幸手市青少年育成推進員協議会について (3) 幸手市青少年育成支援協議会規約について
	7月15日 市役所 第1会議室	【第2回会議】 (1) 学校訪問について (2) 街頭キャンペーンについて
	7月15日 幸手駅 杉戸高野台駅	【街頭キャンペーン】 (※)
	8月31日 市役所	【第3回会議】 (1) 学校訪問について
	8月31日 市内	【非行防止パトロール】 ショッピングモールや幸手市内公園を中心に2班に分かれて巡回した。(参加者8人)
	12月23日 市役所 第1会議室	【第4回会議】 (1) 学校訪問について (2) 非行防止パトロールについて
	12月23日 市内	【非行防止パトロール】 ショッピングモールや幸手駅東口・西口を中心に2班に分かれて巡回した。(参加者5人)
	2月17日 市役所	【第4回会議】 (1) 学校訪問報告会 (2) 非行防止パトロールについて
	2月17日 市内	【非行防止パトロール】 幸手駅東口・西口や幸手市内コンビニを中心に2班に分かれて巡回した。(参加者10人)
	そのほかの活動 ・学校訪問(9月～1月) 小学校6校 中学校1校 ・研修会(11月15日) 「県政出前講座」薬物乱用防止について	
	事業成果	青少年育成推進員による啓発活動や市内パトロールの実施により、青少年健全育成に関する地域環境の向上が図れた。

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

◎ 二十歳を祝う会開催事業

社会教育課

事業目的	20歳を迎えた人の門出を祝福するとともに、社会人としての自覚を促しながら、故郷を再認識し、地域に貢献できる人づくりを図るために、式典を開催する。
主催	幸手市・幸手市教育委員会
運営	幸手市二十歳を祝う会実行委員会 実行委員（参加対象者） 9人 協力員（社会教育関係者） 7人
委託料	790,831円
期日・会場	令和5年1月8日 市民文化体育館 さくらホール
対象	平成14年4月2日から平成15年4月1日までに生まれた人
参加者数	294人（参加率：68.1%）
事業内容	テーマ：「雲外蒼天」 内容：式典及びアトラクション
事業成果	旧交を温めつつ、社会人としての自覚を促す機会を提供することができた。また、参加対象者を中心とした実行委員会を組織し、自らの手で式典を構成することで、責任感を醸成するとともに、故郷の大切さを再認識してもらうことができた。

◎ 人権教育推進協議会関係事業

社会教育課

事業目的	幸手市における部落差別をはじめとする様々な人権教育の振興を図り、明るい地域社会の形成に寄与するために人権教育に関する研修会等を実施する。			
事業内容	行事名	期日・会場	参加者数	備考
	人権教育研修会	5月31日 北公民館	55人	人権教育推進協議会役員 人権啓発DVD視聴
	人権教育研修会 (人権作文発表会)	12月4日 北公民館	199人	市内小・中学生による人権作文の発表及び講演会。 講師：牛窪多喜男氏 演題「世界の障がい者スポーツを通じての人権」
事業成果	新型コロナウイルス感染対策を徹底して研修会等を開催することにより、人権啓発の向上を図れた。			

◎ 集会所事業

社会教育課

事業目的	子どもたちを中心に、地域に住む様々な人々の相互理解の促進と、交流を深めるための活動を実施する。			
事業内容	行事名	期日・会場	参加者数	備考
	体力づくり親子運動会	5月17日 上高野小学校	530人	親子運動会への支援
	夏のおはなし会	7月21日 南公民館	5人	こわいおはなし
	子ども料理教室	南公民館	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
	子どもお楽しみ会	南公民館	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
事業成果	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した事業もあったが、夏休みには、参加人数を制限して、夏のおはなし会を実施し、人権について学び、また、参加した子どもたちの交流を深めることができた。			

◎ 無形文化財保存事業（一般補助）

社会教育課

事業目的	郷土芸能の保存及び伝承のために、保存会の育成を図る。
対象	幸手市郷土芸能保存会 ①松石ささら獅子舞保存会 ②高須賀大杉ばやし保存会
事業内容	後継者育成と伝承技術の向上のため地区ごとに練習を実施し、それぞれの地区ごとに祭礼を行う。併せて、郷土芸能大会を実施する。
補助金額	55,000円
事業成果	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、祭礼及び郷土芸能大会は中止となったが、技術向上のための練習や小学校での指導等を通して、郷土芸能に触れる機会の創出と後継者育成に寄与することができた。

◎ 文化財保護審議会

社会教育課

事業目的	市の区域内に所在する文化財の調査、保存及び活用に関し、教育委員会の諮問に応じ重要事項を審議し、かつ、これらの事項に関し必要と認める事項を建議するために設置する。	
事業内容	期日・会場	内 容
	12月11日 郷土資料館講座室	・ 幸手市の区域内に所在する文化財の指定に関する審議について ・ その他
	3月12日 郷土資料館講座室	・ 幸手市の区域内に所在する文化財の指定に関する審議について ・ その他
事業成果	市の文化財保護行政の実績と計画について理解し、委員としての認識が高まるとともに、委員からも文化財保護事業に対する提言や文化財活用にかかわる地域の細かな情報提供があり、文化財保護の重要性を共有することができた。併せて、新たな市指定文化財について検討することができた。	

◎ 文化遺産保存公開事業

社会教育課

(1) 郷土資料館開館日数及び入館者数

	令和4年度	令和3年度
開館日数	308日	309日
入館者数	5,674人	4,368人

(2) 展示公開事業

事業目的	幸手の歴史を通覧する常設展示だけでなく、特定のテーマに絞った特別展示・企画展示を実施することで、幸手の歴史と文化の深みや多様性について周知を図る。
事業内容	<p>① 特別展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 名称 「アマチュア写真家浜田得一撮影幸手町記録写真集―大正・昭和のふるさとの風景―」 ・ 内容 令和4年3月に市指定有形文化財（歴史資料）として指定された「浜田得一撮影幸手町記録写真集」（合計5冊）を紹介することを目的として開催した。 これに併せて写真集を作成したアマチュア写真家 浜田得一の生涯と作品について、浜田家から寄贈された関連資料を中心に、解説パネル、写真パネルを展示した。 ・ 展示期間 10月4日～1月29日 <p>② 企画展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 名称 第1回「権現堂堤の歴史と江戸時代の幸手とその周辺の河川・用悪水路」 ・ 内容 権現堂堤について、意外に知られていない本来の役割である堤防としての歴史に焦点を当て、市民のみならず権現堂堤を訪れる多くの人に、より深く権現堂堤について知っていただくため、河川絵図をはじめ、解説パネル、写真パネルを展示した。 ・ 展示期間 4月5日～5月31日 ・ 名称 第2回「幸手の土器」 ・ 内容 榎野地西遺跡・榎野地北遺跡・榎野地原遺跡の発掘調査によって出土した縄文土器・土師器・須恵器などの実物資料を中心に、解説パネル、写真パネルを展示した。 ・ 展示期間 6月7日～7月18日 ・ 名称 第3回「明治天皇幸手行在所―中村家の資料―」 ・ 内容 明治天皇幸手行在所の歴史を説明するため、中村家が所蔵する下賜品「御紋散三ツ組盃」をはじめとする明治天皇ゆかりの資料のほか、同家から寄贈された関連資料を中心に、解説パネル、写真パネルを展示した。 ・ 展示期間 7月20日～9月25日 ・ 名称 第4回「郷土資料館雛まつり」 ・ 内容 幸手出身の実業家 熊倉良助ゆかりの御殿飾り雛をはじめ、内裏雛や幸手の際物師「松林斎亀山」作の台のり人形など、これまで郷土資料館が収集してきた人形を、雛まつりの時期にあわせて展示した。 ・ 展示期間 2月1日～3月26日
事業成果	特別展示や企画展示を通して、来館者に幸手の歴史や文化を理解してもらうことができた。

(3) 教育普及事業

① 古文書学習講座

事業目的	市民が古文書を学びながら地域の歴史を知ることの楽しさを体感することを目的とし、郷土愛や文化財愛護の精神を有する人材の育成を図る。			
事業内容	期日・会場	内 容	講 師	参加者数
	5月21日～3月18日 (全11回) 郷土資料館講座室	①江戸時代の古文書を読む ②江戸時代の古文書(地方文書)を読む	郷土資料館 学芸員	一 般 延べ274人
事業成果	古文書の学習を通して、受講者に幸手の歴史を学び知ることの楽しさを感じてもらうことができた。			

② 特別展講演会

事業目的	特別展に関連する講演会を開催することで、さらなる理解の向上を図る。			
事業内容	期日・会場	内 容	講 師	参加者数
	11月3日 郷土資料館講座室	写真の歩みと埼玉東部の写真史	中島 清治	30人
事業成果	専門的見地の高い講師による講義は明快で好評が得られ、受講者に展示に関する内容への理解をさらに深めてもらうことができた。			

③ 第20回市史講座

事業目的	市民が市の歴史や文化をより深く学ぶことの楽しさを知ることが目的とし、郷土愛や文化財愛護の精神を持った人材育成を図る。			
事業内容	期日・会場	内 容	講 師	参加者数
	11月26日 郷土資料館講座室	一橋慶喜の家臣 渋沢栄一と幸手	加藤 弘之	39人
事業成果	専門的見地の高い講師による講義は明快で好評が得られ、受講者の知的要求に応えることができた。			

④ ものづくり体験学習講座

事業目的	幸手の歴史に関連した地域資源を活かすことを目的とし、幸手の歴史や文化について周知を図る。			
事業内容	期日・会場	内 容	講 師	参加者数
	5月28日 郷土資料館講座室	機織り体験	機織り体験学習市民 ボランティア	13人
	7月2日 郷土資料館講座室	拓本体験	郷土資料館学芸員	15人
	7月30日 郷土資料館講座室	機織り体験 (夏休みわくわく体験)	機織り体験学習市民 ボランティア	12人
	8月7日 郷土資料館講座室	貝のストラップづくり (夏休みわくわく体験)	郷土資料館学芸員	26人
	8月21日 郷土資料館講座室	藍のたたきぞめ (夏休みわくわく体験)	郷土資料館学芸員	21人
	8月28日 郷土資料館講座室	貝のクリップづくり (夏休みわくわく体験)	郷土資料館学芸員	28人
	12月18日 郷土資料館講座室	藁で作るお正月飾り	坂 齊 武 男	10人
	2月19日 郷土資料館講座室	張り子のつるし飾りづくり	郷土資料館学芸員	22人
	3月4日 郷土資料館講座室	勾玉づくり	郷土資料館学芸員	34人
	3月25日 郷土資料館講座室	機織り体験	機織り体験学習市民 ボランティア	16人
事業成果	市域でかつて行われていた藍染めや機織り、また、米どころ幸手ならではの藁の文化についての理解を深めることができた。特に、夏休みわくわく体験では、初めて郷土資料館に来たという市民も多く、郷土資料館を周知することができた。			

⑤ 幸手市文化遺産だよりの発行

事業目的	市民に郷土資料館の取組みや文化財について紹介し、地域の文化遺産への理解の向上を図る。			
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 名 称 『幸手市文化遺産だよりの』第20号 ・ 内 容 浜田得一をテーマに開催した令和4年度特別展で展示をした、『むさし野』創刊号の概要について紹介するとともに、浜田得一の孫でフォトグラファーの塩澤秀樹氏の特別寄稿を掲載した。 ・ 発行日 令和5年3月1日 ・ 発行部数 21,000部（広報紙折込で全戸配布ほか） ・ 印刷費用 187,110円 			
事業成果	幸手を含む埼玉県東部地域のアマチュア写真家たちの活動や創作の歴史について市民に周知することができた。			

(4) 資料調査・整理事業

郷土資料館収蔵資料調査事業

事業目的	郷土資料館収蔵資料を保存・活用するため、未整理の古文書等の整理・調査を行うとともに、古文書等整理市民ボランティアの養成を図る。
事業内容	史料の取扱い等に精通し、歴史学について専門的知識を有する史料専門員と、古文書等整理市民ボランティアとが、郷土資料館で収蔵している古文書等について調査・整理・資料台帳の作成を行うもの。
実施回数	21回
参加者数	延べ111人
事業成果	郷土資料館が収蔵する古文書約2,000点を整理し、今後活用することができるようになった。さらに、市民ボランティアを養成したほか、この事業を通して、市民に生涯学習の場を提供することができた。

◎ 第61回文化祭

社会教育課

事業目的	日頃の文化活動の成果を発表する機会を設け、市民の文化交流を図る。				
主 催	幸手市・幸手市教育委員会				
共 催	幸手市公民館				
主 管	第61回幸手市文化祭実行委員会				
協 力	幸手市文化団体連合会・幸手市公民館クラブ連絡協議会				
方 法	委託事業 委託料 2,043,184円				
事業内容	行 事 名	期 日	会 場	入場者・参加者数	
	展 示 部 門	11月5～6日	市民文化体育館	4,158人	
	発 表 部 門	11月5～6日	市民文化体育館	2,569人	
	大 会	短 歌 大 会	11月6日	市民文化体育館	18人
		俳 句 大 会	11月6日	市民文化体育館	18人
		囲 碁 大 会	11月19日	保健福祉総合センター	59人
		将 棋 大 会	11月6日	コミュニティセンター	50人
	催 物	お 話 会	11月9日	図書館（本館）	9人
			11月12日	図書館（本館）	10人
合 計			6,891人		
事業成果	市最大規模の文化事業であり、多くの市民に幸手の文化を鑑賞する機会を提供することができた。				

◎ 公民館開館日数及び利用者数

社会教育課

公民館名	開館日数		利用者数	
	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
中央公民館	348日	348日	25,935人	27,276人
勤労青少年ホーム	348日	348日	14,335人	13,263人
西公民館	348日	348日	35,975人	31,448人
北公民館	348日	348日	15,086人	10,028人
南公民館	348日	348日	28,816人	20,576人
東公民館	348日	348日	11,782人	10,477人

◎ 公民館講座・共催事業

社会教育課

事業目的	生涯学習活動の拠点として、公民館の利用を促進し、活動の活性化を図るために、講座の開催やクラブ活動の成果を発表するための事業を実施する。			
事業名及び場所	開期 間 催 等	対 象 者 及 び 参 加 者 数	事 業 内 容	事 業 成 果
日本語教室 (幸手市国際交流協会との共催) 中央公民館	4月2日 ～ 3月28日 毎週火曜 ・土曜 全79回	一 般 延 べ 1,471人	外国の方が日本での生活を容易にするため、日本の文化、生活習慣を知り、生活に慣れてもらうことと参加者の交流を図る。	毎回、たくさんの外国の方が参加し、真剣に日本語や文化を学ぶことができた。
春の野草研究会 (幸手自然愛護会との共催) 東公民館及び 中川周辺	4月26日	一 般	中川周辺の野草を観察し種類や生態について調べ、季節による植生の違いを観察し、自然に対する知識や理解を深める。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
脳と体の健康教室 西公民館	5月25日 ～ 6月22日 全5回	一 般 延 べ67人	脳の活性化を目指して開発された教材による学習や簡単な健康体操を行うとともに、参加者同士や教室サポーターとのコミュニケーションを通し意欲を育み、学習を生活習慣とすることで、脳と体の健康維持を図る。	当初の目的である脳トレ学習と健康体操を行うことによって、脳と体の健康維持が図れた。
ふれあいサロン (埼玉県との共催) 西公民館	5月25日 7月27日 9月28日 11月23日 1月25日 3月15日	乳幼児から小学生と保護者等 延べ75人	絵本の読み聞かせや親子遊び、ママトークなどを通して、忙しくしているママたちがゆっくりくつろげる場を提供する。	ママトークは、子育てに対する不安解消や各種情報交換の場となった。楽しく有意義なときを過ごすことができた。

◎ 公民館講座・共催事業のつづき

社会教育課

事業名及び場所	開 催 期 間 催 等	対 象 者 び 及 参 加 者 数	事 業 内 容	事 業 成 果
初心者ピアノ講座 西 公 民 館	6 月 28 日 ～ 7 月 26 日 全 5 回	一 般 延べ45人	ピアノ演奏の基本を学ぶとともに、仲間づくりを支援する。	目標の「エリーゼのために」を習得し、最終日には発表会を開催し、楽しく有意義な時間を過ごすことができた。
アートフラワー体験講座 東 公 民 館	7 月 1 日 ～ 7 月 29 日 全 5 回	一 般 延べ37人	染花や造花を使って小物づくりを体験し、その経験を生かして家庭でもアートフラワーを楽しむ。	受講者は、楽しい雰囲気の中で、会話を楽しみながら、それぞれの感性で個性豊かなすばらしい作品を作ることができた。
ピラティス講座 東 公 民 館	7 月 7 日 ～ 7 月 28 日 全 4 回	一 般 延べ77人	骨格を中心とした身体の深層部を刺激し、姿勢改善、肩こりや腰痛の解消などの効果が期待できることを目的に、柔軟体操を主としたエクササイズを行う。	講師のきめ細やかな指導により、すべての受講者が姿勢改善、肩こりや腰痛の解消などの効果を体感することができた。
淡墨によるやさしい一字書の創作講座 北 公 民 館	7 月 14 日 ～ 7 月 28 日 全 3 回	一 般 延べ15人	筆文字のにじみ、かすれを活かし楽しく作品づくりを行う。	淡墨の醸し出す、にじみやかすれを活かして、思い思いの表現でそれぞれの作品を完成することができた。
夏休み子ども書道教室 西 公 民 館	7 月 27 日 ～ 8 月 31 日 全 5 回	小 学 生 延べ36人	小学生限定で学校から出された書道の宿題に対応する特別教室を開催する。	先生の見本を参考に、先生と子どもたちが会話しながら楽しく、真剣に作品を完成することができた。
よくわかる楽しい算数講座 北 公 民 館	7 月 28 日 ～ 8 月 25 日 全 4 回	小 学 校 5・6年 生とその 保 護 者 延べ5人	考える習慣を身に着け、生涯にわたって算数に親しむ心を育む。	楽しく算数を学び、それを家庭に持ち帰って親と一緒に考える時間を持つことができた。
トールペイント講座 中 央 公 民 館	7 月 29 日 ～ 9 月 2 日 全 5 回	一 般 延べ22人	初夏を彩る花々をシンプルにアレンジした作品づくり。木のフレームにぬり絵感覚で描く。	受講者同士の会話を楽しみながら、それぞれの感性で個性豊かな作品づくりができた。
第8回幸手本因坊・子ども本因坊囲碁大会 (幸手市囲碁連盟との共催) 北 公 民 館	8 月 上 旬	小 学 生 ・ 中 学 生	<ul style="list-style-type: none"> ・本因坊戦 ・段位戦 ・級位戦（1～5級） ・級位戦（6級以下） ・子ども本因坊戦（19路盤・13路盤） 	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

◎ 公民館講座・共催事業のつづき

社会教育課

事業名及び場所	開 催 期 間 催 等	対 象 者 及 び 参 加 者 数	事 業 内 容	事 業 成 果
夏休みこども科学教室（サイエンスショーとLEDで光るカップ作成） 中央公民館	8月22日	市内小学3～4年生 8人	サイエンスショーで科学への興味を持ってもらい、楽しみながら作品を完成させる。	様々な実験に驚いたり、光るカップ作成は、楽しみながら作ることができた。
親子ボウリング教室 中央公民館	8月23日	小学生以下の子どものとその保護者 4組8人	児童の健全育成及び親子の絆を深めることを目的とし、ボウリングを初歩から体験し夏休みの思い出とする。	プロの指導により、ボウリングの楽しさを知り、親子で楽しい時間を過ごすことができた。
いきいき大学 東公民館	8月24日～ 9月21日 全5回	一般 延べ52人	シニア層から高齢者の方々が、日々の生活や地域に関わりの深いテーマを中心とした学習を通して、豊かな知識と能力を更に高め、その成果を自らの生活に活かし、健康的な生活を送ることを目的とする。	市の歴史、茶道、うどん・そば打ちなどを体験し、また、体操を実施し、充実した内容で開催することができた。
つまみ細工講座 中央公民館	9月2日～ 11月4日 全5回	一般 延べ20人	江戸時代から続くつまみ細工を現代らしい物にし、髪飾りやブローチなど世界にひとつだけの作品を作る。	先生の見本を参考に、参加者同士が会話を交えながら毎回楽しい雰囲気で開催することができた。
ストレッチヨガ講座（幸手市レクリエーション協会との共催） 南公民館	10月4日～ 11月1日 全5回	一般 延べ62人	ストレッチヨガを通じて健康増進の一助を図り、参加者同士の交流を図る。	ストレッチヨガを通じて健康増進の一助り、参加者同士の交流を図ることができた。
手打ちうどん体験講座 東公民館	10月5日～ 10月25日 全4回	一般 延べ38人	うどん打ちを体験し、その経験を活かして家庭での実践を目指すとともに、参加者同士のコミュニケーションを深める。	コミュニケーションを図りながら、楽しくうどん打ちを学ぶことができた。
バドミントン教室 南公民館	10月12日～ 11月9日 全5回	一般 延べ49人	バドミントンの基本を学び、楽しさを体験して健康増進の一助とし、スポーツの日常化と仲間づくりを図る。	指導が行き届き、わかりやすく参加者は楽しむことができた。

◎ 公民館講座・共催事業のつづき

社会教育課

事業名及び場所	開 催 期 間 等	対 象 者 及 び 参 加 者 数	事 業 内 容	事 業 成 果
秋の自然観察会 (幸手自然愛護会との共催) 中央公民館	10月20日	一般 13人	山野草の観察を通して、植物の分類や観察の手法、楽しさを体験し、自然のしくみを楽しみながら学ぶ。	自由散策によりそれぞれが自然に触れ合いながら、のんびりと楽しむことができた。
郷土芸能大会 (郷土芸能保存会との共催) 西公民館	10月30日	一般・ 小学生	伝統ある郷土芸能(高須賀大杉ばやし・松石ささら獅子舞)のすばらしさを、大勢の方に知ってもらおう。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
リンパ整体 体操教室 南公民館	11月1日 ～ 11月29日 全5回	一般 延べ64人	軽い体操で筋肉をほぐし、リンパの循環を促し凝り固まった老廃物を排出することにより、ゆったりとした心地よさを体感する。	アンケート回答者全員から講座内容について「大変よかった」との評価があり、充実した教室を開催することができた。
華道講座 東公民館	11月8日 ～ 12月6日 全4回	一般 延べ34人	生け花を通して、美の感覚を研ぎ澄まし、参加者同士のコミュニケーションを深める。	受講者同士が会話を楽しみながら、生け花を学ぶことができた。
健康エクササイズ 講座 東公民館	11月11日	一般 延べ15人	生活機能と心理社会機能に着目し、スクエアステップを取り入れて楽しみながら介護予防(転倒予防・認知機能向上)を目指し健康維持や仲間づくりを行う。	受講者が、リズムに合わせてスクエアステップをして、頭と体を使った運動を行い、介護予防(転倒予防・認知機能向上)を目指し、健康維持と受講者同士のコミュニケーションが図れた。
マットピラティス 講座 南公民館	11月13日 ～ 12月11日 全5回	一般 延べ63人	身体の深い部分の筋肉を鍛え、身体を動かして調和の取れた体づくりを目指す。	体のバランスが良くなり、調和の取れた体づくりができた。
そば打ち体験講座 東公民館	11月18日 ～ 12月2日 全3回	一般 延べ27人	そば打ちを体験し、その経験を活かして家庭での実践を目指すとともに、参加者同士のコミュニケーションを深める。	コミュニケーションを図りながら、楽しくそば打ちを学ぶことができた。
フレイル予防講座 中央公民館	11月24日	一般 6人	フレイル予防に欠かせないチェック方法を体験しながら学ぶ。現在の体の状態をアプリを使って測定する。	講師の説明は分かりやすく、真剣にフレイルについて学ぶことができた。

◎ 公民館講座・共催事業のつづき

社会教育課

事業名及び場所	開 催 期 間 等	対 象 者 及 参 加 者 数	事 業 内 容	事 業 成 果
有名野球YouTuber と野球をやろう！ 西 公 民 館 (神扇グラウンド にて開催)	11月26日	大 人 ・ 子 ども 23人	子どもたちの生涯学習の一環として、有名野球YouTuberとの野球を楽しむ。	参加した子ども及び保護者からは大変好評で、子どもたちは、講師及び一緒に参加したメンバーと、講座を通じて楽しく交流を深めることができた。
七草がゆを食べる 会 (幸手自然愛護 会との共催) 中 央 公 民 館	1月7日	一 般 13人	春の七草にまつわる風習や伝統を学び七草がゆの試食を体験することにより、人と自然とのかかわりを実感する。	全員が楽しく調理に取り組み、試食を体験しながら人と自然の関わりを実感できた。
茶 道 講 座 東 公 民 館	1月17日 ～ 1月31日 全 3 回	一 般 延べ16人	気軽に茶の湯を楽しみながら、おもてなしの心を学び、参加者同士のコミュニケーションを深める。	講師と受講者がコミュニケーションを図りながら、茶の湯の作法などを無理なく学ぶことができた。
切り絵アート講座 東 公 民 館	1月18日 ～ 2月8日 全 4 回	一 般 延べ49人	植物や人物、アニメなどの絵や写真をもとに一枚の紙を切り抜いて、絵の作品をつくり、部屋などのインテリアとして飾って楽しむことができるようにする。	受講者同士が会話を楽しみながら、それぞれの感性で個性豊かな素晴らしい作品を作ることができた。
そば打ち体験講座 西 公 民 館	1月23日 ～ 2月20日 全 4 回	一 般 延べ31人	本格的なそば打ちの体験をし、その経験を生かし家庭でも実践できるようにする。また、参加者同士のコミュニケーションを図る。	初心者と経験者がいたが、いずれも楽しくそば打ちの体験をし、参加者同士のコミュニケーションを図ることができた。
相 続 講 座 中 央 公 民 館	2月22日	一 般 10人	基礎から学ぶ相続対策で「相続」が「争族」にならないための準備や遺言について学ぶ。	講師の説明は分かりやすく、真剣に相続について学ぶことができた。

◎ 公民館講座・共催事業のつづき

社会教育課

事業名及び場所	開 催 期 間	対 象 者 及 参 加 者 数	事 業 内 容	事 業 成 果
第42回公民館祭 (展示部門) 北 公 民 館	3月4日 ～ 3月5日	一 般 展 示 ・ 発 表 延べ 348人	書道、絵画、手芸等の作品を展示する。	出展者は日頃の成果を展示することができ、また、来場者も関心深く作品を鑑賞し、有意義な時間を過ごせた。
第42回公民館祭 (発表部門) 北 公 民 館	3月4日 ～ 3月5日		合唱、大正琴、舞踊、太極拳等の団体が成果を発表する。	出場者は日頃の成果を発表することができ、また、来場者も熱心な発表を観覧し、有意義な時間を過ごせた。
第42回公民館祭 (大人囲碁大会) 中 央 公 民 館	3月26日	一 般 31人	大人の囲碁大会を開催する。	出場者同士、真剣に勝負しながらも、楽しく有意義な時間を過ごすことができた。

◎ 公民館感染拡大防止事業

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業)

社会教育課

事業目的	各公民館施設の設備環境を整備し、公共空間での感染リスクを軽減することで、安心安全な施設利用を図る。		
事業名	施行場所	事業概要	事業費
気化式冷風機設置事業	中 央 公 民 館 西 公 民 館 北 公 民 館 南 公 民 館 東 公 民 館	新型コロナウイルス感染症対策として、換気を効率的に行うことで3密を回避し、感染リスクを避けるため気化式冷風機を設置。	1,289,750円
事業成果	公民館の設備環境を整備したことで、施設内での感染リスクを軽減し、安心安全な施設運営を図れた。		

◎ 北公民館施設改修事業

社会教育課

事業目的	公民館施設を改修することで、安全で快適な施設利用を図る。		
事業名	施行場所	事業概要	事業費
北公民館給水ユニット更新工事	北 公 民 館	受水槽から館内に給排水する給水ユニットの更新	1,485,000円
事業成果	公民館設備を改修したことで、安全で快適な施設運営を図れた。		

◎ 図書館開館日数等

社会教育課

	令和4年度		令和3年度			
	開館日数	本館	308日	本館	305日	
	香日向分館	311日	香日向分館	309日		
貸出人数	本館	49,007人	本館	48,314人		
	香日向分館	12,220人	香日向分館	17,312人		
貸出冊数	本館	177,343冊	本館	175,689冊		
	香日向分館	42,257冊	香日向分館	43,878冊		
図書購入費	図書	数量	7,143冊	図書	数量	7,331冊
		金額	15,224,420円		金額	15,411,463円
	A V資料	数量	98点	A V資料	数量	202点
		金額	323,732円		金額	1,601,359円

◎ 蔵書内容

社会教育課

	令和3年度末蔵書数	令和4年度			令和4年度末蔵書数
		購入	寄贈等	払出	
一般書	121,908冊	5,566冊	151冊	4,573冊	123,052冊
児童書	61,737冊	1,573冊	55冊	1,534冊	61,831冊
郷土資料	5,828冊	0冊	96冊	1冊	5,923冊
紙芝居	2,365冊	4冊	0冊	0冊	2,369冊
合計	191,838冊	7,143冊	302冊	6,108冊	193,175冊

◎ 図書館協議会

社会教育課

事業目的	図書館の運営や図書館サービスに対する意見・提案をいただき、業務の運営に役立てる。	
事業内容	期日・会場	内容
	8月29日 図書館視聴覚室	(1) 利用者アンケートの結果について (2) 令和4年度図書館要覧について
事業内容	3月16日 図書館視聴覚室	(1) 利用者アンケートの結果について (2) 令和5年度事業計画について (3) 図書館まつりについて
	事業成果	図書館の円滑な運営及び利用者へのサービス向上を図れた。

◎ 図書館施設改修事業

社会教育課

事業目的	図書館施設を改修することで、安全で快適な施設利用を図る。		
事業名	施行場所	事業概要	事業費
図書館施設改修工事	図書館本館	受水槽から館内に給排水する給水ユニットの更新	538,685円 (繰越明許費分) 1,753,000円
	図書館本館	館内の雨漏り箇所の修繕	(繰越明許費分) 1,287,000円
図書館空調設備熱交換器更新工事	図書館本館	空調設備の熱交換器の更新	2,420,000円
事業成果	図書館施設を改修したことで、安全で快適な施設利用を図れた。		

◎ 第30回幸手市さくらマラソン大会開催事業

社会教育課

事業目的	生涯スポーツの推進をめざすため、健康ふれあいスポーツ都市 幸手市にふさわしく、誰もがスポーツを通して豊かな生活を営むこととあわせて心身の健全な育成に寄与することを目的とする。また、さくらのまち幸手市のイメージアップを図る。		
事業内容	期日・会場	部門	参加申込者数
	—	10マイルコース 3 kmコース 2 kmコース	— — —
事業成果	新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期。		

◎ ふるさとづくり第66回市民体育大会

社会教育課

事業目的	広く市民にスポーツ・レクリエーションを普及し、市民の健康増進と体力の向上を図るとともに、地域の連帯感を高め、明るく豊かな市民生活の形成と文化の発展を図る。			
主催	幸手市・幸手市教育委員会・幸手市体育協会・幸手市レクリエーション協会			
主管	幸手市体育協会加盟団体・幸手市レクリエーション協会加盟団体			
方法	委託事業	委託料	1,128,098円	
事業内容	第1部（地区大会） 体育協会各支部等が主管団体となり、健康づくりと地域コミュニティの推進を図るため、地区をあげてスポーツ・レクリエーションの祭典として実施する。			
	地区名	期日	会場	参加者数
	行幸地区	中止	行幸小学校	—
	八代地区	中止	八代小学校	—
	さくら小地区	中止	さくら小学校	—
	北地区	中止	幸手中学校	—
	上高野地区	中止	上高野小学校	—
	長倉地区	中止	長倉小学校	—
	権現堂川地区	中止	権現堂川小学校	—
	栄地区	中止	さかえ小学校	—
	吉田地区	中止	吉田小学校	—
	香日向地区	11月13日	旧香日向小学校	260人
	中地区	中止	幸手小学校	—
	第1部合計			260人

◎ ふるさとづくり第66回市民体育大会のつづき

社会教育課

事業内容	第2部（種目別大会） 体育協会及びレクリエーション協会加盟団体が主管団体となり、広く市民から参加者を集い、スポーツ・レクリエーションの普及を図る。			
	種目	期日	会場	参加者数
	テニス	9月11日～11月6日	総合公園庭球場	278人
	柔道	9月4日	武道館	87人
	野球	9月24日～11月27日	ひばりヶ丘球場	200人
	空手道	11月6日	武道館	124人
	ゴルフ	12月8日	フレンドシップ カントリークラブ	194人
	卓球	10月2日	市民文化体育館	39人
	バレーボール	10月9日・3月11日	海洋センター ほか	75人
	ゲートボール	10月10日	老人福祉 センター	27人
	インディアカ	10月23日	市民文化体育館	204人
	剣道	10月30日	武道館	69人
	ソフトボール	10月16日・30日	神扇グラウンド	327人
	弓道	10月15日	武道館	30人
	グラウンド・ゴルフ	10月29日	総合公園陸上 グラウンド	158人
	ターゲット・ バードゴルフ	9月25日	総合公園さくら ふれあい広場	30人
	ソフトバレーボール	11月20日	市民文化体育館	144人
	サッカー	11月9日	総合公園陸上 グラウンド	258人
	ミニテニス	12月4日	市民文化体育館	46人
	スキー	2月26日	菅平高原 スキー場	12人
第2部合計				2,302人
事業成果	大会の開催により、市民の健康増進と市民との協働によるスポーツ・レクリエーション活動の推進が図れた。			

◎ 委託教室開催事業

社会教育課

事業目的	市民のスポーツ・レクリエーション等への参加を促進するため、スポーツ教室を実施し、市民の健康と体力の向上、交流の場及び各種スポーツの推進を図る。				
事業内容	教室名	委託先	対象	期日・会場	参加者数(延べ)
	ターゲット・バードゴルフ教室	幸手ターゲット・バードゴルフクラブ	一般男女	6月18～26日(全5回) 総合公園 さくらふれあい広場	11人
	空手体験教室	空手道連盟	中学生～一般男女	3月12～26日(全3回) 武道館	6人
	合 計				17人
事業成果	教室の開催により、市民の健康づくりと、スポーツ・レクリエーション活動の普及、参加者の交流を図れた。				

◎ 社会体育関係団体の概要と補助金（一般補助）

社会教育課

事業目的	市内のスポーツ・レクリエーション団体を支援するため補助金を交付することで、スポーツ・レクリエーション活動の普及と市民の健康づくりを推進する。			
交付実績	団体名・代表者名	主 な 活 動	会 員 数 等	交 付 額
	幸手市体育協会 会長 宮杉 勝男	<ul style="list-style-type: none"> 各支部開催の交流事業への補助 各加盟団体開催の交流事業及びスポーツ教室への補助 「スポーツ幸手」発行 	9支部 18競技団体 3,097人	3,050,000円
	幸手市スポーツ少年団 本部長 斉藤 一夫	<ul style="list-style-type: none"> 種目別各種大会 会議の開催 各種研修会への参加 	11団 指導者 105人 団 員 266人	700,000円
	幸手市レクリエーション協会 会長 青木 章	<ul style="list-style-type: none"> 普及事業の開催 各加盟団体開催の交流事業及びスポーツ教室への補助 	4競技団体 141人	300,000円
	幸手市スポーツ推進委員連絡協議会 会長 熊倉 仁一	<ul style="list-style-type: none"> 各種研修会への参加 各種スポーツ事業の協力 会議の開催 	21人	140,000円
事業成果	活動団体に補助金を交付することにより、事業運営の充実が図られ、スポーツ・レクリエーション活動の普及や、健康づくりを図れた。			

◎ ふれあいスポーツ教室開催事業

社会教育課

事業目的	高齢者がスポーツを通して健康づくりを進めるとともに、新たなスポーツ体験を通じて、生きがいづくりや交流の支援を図る。		
対 象	市内在住・在勤の60歳以上の方		
参加者数	30人		
事業内容	期日	事 業 内 容	開 催 場 所
	1月20日 1月27日 2月3日	ラジオ体操講習会&ニュースポーツ体験会	市民文化体育館 さくらホール
事業成果	健康づくりやスポーツに対する関心が深められ、参加者の交流も図れた。		

◎ 学校体育施設開放事業

社会教育課

事業目的	地域住民に身近な学校体育施設を、学校教育に支障のない範囲において開放し、スポーツ・レクリエーション活動の場を提供する。				
事業内容	学 校 名	施 設 名	開放日数	利用者数	主 な 利 用 種 目
	幸 手 小	校 庭	44日	778人	<ul style="list-style-type: none"> ・少年野球 ・少年サッカー ・吹矢 ・インディアカ ・ミニテニス
		体 育 館	57日	770人	
		夜間体育館	58日	789人	
	長 倉 小	校 庭	76日	2,453人	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボール ・ミニテニス ・少年野球 ・バドミントン ・インディアカ
		体 育 館	68日	716人	
		夜間体育館	83日	1,001人	
	上 高 野 小	校 庭	105日	5,115人	<ul style="list-style-type: none"> ・少年野球 ・少年サッカー ・グラウンドゴルフ ・ソフトボール ・卓球 ・インディアカ ・バスケットボール
		体 育 館	90日	1,779人	
		夜間体育館	103日	1,846人	
		夜間校庭	131日	4,996人	
	行 幸 小	校 庭	77日	2,268人	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボール ・少年野球 ・グラウンドゴルフ ・インディアカ
		体 育 館	74日	2,720人	
		夜間体育館	165日	2,272人	

◎ 学校体育施設開放事業のつづき

社会教育課

	学 校 名	施 設 名	開放日数	利用者数	主 な 利 用 種 目
事業内容	八 代 小	校 庭	42日	1,438人	<ul style="list-style-type: none"> ・少年野球 ・ミニテニス ・卓球
		体 育 館	5日	125人	
		夜間体育館	234日	1,909人	
	吉 田 小	校 庭	58日	1,160人	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボール ・少年野球 ・ソフトバレーボール ・バドミントン
		体 育 館	2日	22人	
		夜間体育館	101日	673人	
	さ か え 小	校 庭	0日	0人	<ul style="list-style-type: none"> ・少年サッカー ・ミニテニス ・インディアカ
		体 育 館	81日	1,966人	
		夜間体育館	48日	509人	
	さ く ら 小	校 庭	100日	3,769人	<ul style="list-style-type: none"> ・少年サッカー ・少年野球 ・ミニテニス ・ミニバスケットボール
		体 育 館	82日	3,159人	
		夜間体育館	185日	2,246人	
	権 現 堂 川 小	校 庭	12日	408人	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上 ・バドミントン
		体 育 館	55日	660人	
		夜間体育館	0日	0人	
	合 計	校 庭	514日	17,389人	利用者数 合計 45,547人
体 育 館		514日	11,917人		
夜間体育館		977日	11,245人		
夜間校庭		131日	4,996人		
事業成果	地域の身近なスポーツ施設として、地域住民を中心に利用され、スポーツの普及と地域の交流を図れた。				

◎ 香日向スポーツ施設開放事業

社会教育課

事業目的	市民の体力づくりと、スポーツ・レクリエーションの普及奨励を目的に、香日向スポーツ施設（旧香日向小学校）の体育施設を、市民の利用に供する。			
事業内容	施設名	開放日数	利用者数	主な利用種目
	校庭	117日	3,539人	<ul style="list-style-type: none"> ・少年サッカー ・ソフトボール ・卓球 ・バドミントン ・インディアカ ・ミニテニス ・スポーツ吹矢 ・さいかつボール
	体育館	340日	10,260人	
	夜間体育館	190日	3,448人	
	合計	647日	17,247人	
事業成果	地域の身近なスポーツ施設として、地域住民を中心に利用され、スポーツの普及と地域の交流を図れた。			

◎ 公園等長寿命化対策事業（社会資本整備総合交付金充当事業）

社会教育課

事業目的	公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した施設の更新工事を行い、誰もが安全で安心して利用できる施設環境の整備を図る。		
事業名	施行場所	事業概要	事業費
公園施設長寿命化工事（繰越明許費分）	総合公園庭球場	テニスコート人工芝の更新	26,950,000円
	総合公園地内	高圧引込ケーブルの更新	2,299,000円

◎ 武道館施設改修事業

社会教育課

事業目的	老朽化した施設の更新工事を行い、誰もが安全で安心して利用できる施設環境の整備を図る。		
事業名	施行場所	事業概要	事業費
武道館柔道場畳入替工事設計業務委託	武道館	武道館柔道場畳入替工事設計図書作成	385,000円
武道館柔道場畳入替工事	武道館	柔道場床の畳の入替及び下地板の一部取替	11,528,000円

◎ 指定管理者光熱費高騰対策支援事業

（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業）

社会教育課

事業目的	事業概要	事業成果
コロナ禍において光熱費高騰の影響を受けた指定管理者の負担軽減を図る。	指定管理者対象施設への支援金給付 図書館・香日向分館 幸手総合公園外6公園（体育施設分） 武道館 市民文化体育館	4,914,169円 【内訳】 930,000円 725,000円 109,169円 3,150,000円

◎ 体育施設の概要と利用者数

社会教育課

施設名	施設概要	規模	利用者(件)数
武道館	市の武道の拠点施設として、昭和59年に柔道場と剣道場を、平成3年に弓道場を開設。	敷地面積 1,920㎡ ○柔道場・剣道場 鉄骨造 延べ床面積 1,323㎡ 1F柔道場 420㎡ 2F剣道場 406㎡ ○弓道場 鉄骨造 延べ床面積 272㎡ 近的(6人立) 28m	28,945人
B & G 海洋センター	B & G財団の補助を受け、昭和57年に開設し、昭和60年に譲渡を受ける。	敷地面積 9,003㎡ ○体育館 鉄筋コンクリート造 延べ床面積 1,102㎡	11,234人
ひばりヶ丘球場	ナイター照明を備えた本格的な野球場として平成4年に開設。	○グラウンド 両翼 92m センター 120m ○メインスタンド 椅子席 1,460人 芝生席 約3,000人	27,166人
幸手総合公園	雇用・能力開発機構の補助を受け、勤労者福祉施設として、昭和62年に開設。 平成11年度にグラウンドを改修。	○陸上グラウンド 敷地面積 24,000㎡	41,553人
		○庭球場 敷地面積 4,500㎡ 人工芝(全天候型) 6面 (うち夜間照明設備 3面)	21,176人
神扇グラウンド	一般廃棄物最終処分場跡地の有効利用を図るため、平成13年に開設。	敷地面積 19,370㎡ 野球等グラウンド 2面 (バックネット 2面)	9,032人
少年サッカー場	旧権現堂川小学校跡地を再利用し、昭和62年に開設。	敷地面積 8,112㎡ 少年用サッカー場 1面	3,210人
大島新田多目的グラウンド	県有地である大島新田を借り受け、杉戸町との共同により整備し、平成12年に開設。	敷地面積 10,800㎡	711件
市民文化体育館(アスカル幸手)	大規模なスポーツ・文化イベントが開催できる複合施設として、平成7年に開設。	鉄筋コンクリート造 敷地面積 26,865㎡ 延べ床面積 10,521㎡ メインアリーナ 2,050㎡ さくらホール 1,070㎡	152,137人

《財産運用の推移について》

◎ 基金（積立基金）

(1) 財政調整基金

財政課

基金の目的	地方財政法第4条の3第1項及び第7条第1項の規定に基づき、年度間における財源の調整を行い、市財政の健全な運営に資することを目的とした基金である。	
運用状況	令和3年度末現在高	1,038,637,006円
	令和4年4月1日（取崩）	400,000,000円
	令和5年3月29日（取崩）	137,000,000円
	令和5年3月29日（利子積立）	8,661円
	令和5年3月29日（積立）	770,000,000円
	令和4年度末現在高	1,271,645,667円

(2) 公共施設整備基金

財政課

基金の目的	公共施設の整備にあたり、その整備費用に資することを目的とした基金である。	
運用状況	令和3年度末現在高	53,508,829円
	令和5年3月29日（利子積立）	834円
	令和4年度末現在高	53,509,663円

(3) 減債基金

財政課

基金の目的	市債の償還に必要な財源を確保し、将来にわたる市財政の健全な運営に資することを目的とした基金である。	
運用状況	令和3年度末現在高	316,848,274円
	令和5年3月29日（利子積立）	1,752,527円
	令和4年度末現在高	318,600,801円

(4) 地域福祉基金

社会福祉課

基金の目的	在宅福祉・ボランティア活動の推進等、地域における保健福祉活動の振興を図ることを目的とした基金である。	
運用状況	令和3年度末現在高	50,000,119円
	令和5年3月29日（利子積立）	275,002円
	令和5年3月29日（取崩）	275,002円
	令和4年度末現在高	50,000,119円
	※取崩（275,002円）については、車椅子同乗車両貸出事業及び福祉機器の貸出事業の助成として、社会福祉協議会に支出した。	

(5) 学校教育施設整備基金

総務課

基金の目的	学校教育施設の整備資金に充てることを目的とした基金である。	
運用状況	令和3年度末現在高 令和5年3月29日(利子積立) 令和4年度末現在高	3,582,810円 55円 3,582,865円

(6) 子育て応援基金

こども支援課

基金の目的	子どもたちが健やかに育つ環境づくりを推進し、子育て支援のより一層の充実を図ることを目的とした基金である。	
運用状況	令和3年度末現在高 令和5年3月29日(利子積立) 令和4年度末現在高	121,896,120円 1,975円 121,898,095円

(7) 庁舎建設基金

施設整備課

基金の目的	市庁舎の建設経費に充てることを目的とした基金である。	
運用状況	令和3年度末現在高 令和5年3月29日(利子積立) 令和5年3月29日(積立) 令和4年度末現在高	53,339,641円 125,443円 200,000,000円 253,465,084円

(8) 森林環境譲与税基金

財政課

基金の目的	森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律第27条に規定する森林環境譲与税について、森林整備及びその促進に要する経費の財源に充てることを目的とした基金である。	
運用状況	令和3年度末現在高 令和5年3月29日(利子積立) 令和5年3月29日(積立) 令和4年度末現在高	10,585,171円 162円 5,526,000円 16,111,333円

◎ 基金(定額運用基金)

(1) 土地開発基金

契約管財課

基金の目的	公用若しくは公共用に供する土地又は公共の利益のために取得する必要がある土地を、予め取得することにより、事業の円滑な執行を図ることを目的とした基金である。	
運用状況	令和3年度末現在高 令和4年4月1日(取崩) 令和4年度末現在高	26,206,405円 26,206,405円 0円

※ 土地開発基金は、令和4年4月1日をもって廃止された。

◎ 債 権

(1) 入学準備貸付金債権

学校教育課

債 権 の 目 的	高等学校、大学及び専修学校に入学を希望する市民の保護者で、入学準備金の調達が困難な家庭に対して、入学準備金の貸付を行い、等しく教育を受ける機会を与えることを目的とするものである。	
運 用 状 況	令和3年度末現在高	13,130,000円
	令和4年5月 (償還 4件)	100,000円
	令和4年7月 (償還 5件)	500,000円
	令和4年10月 (償還 19件)	1,050,000円
	令和4年11月 (償還 3件)	175,000円
	令和4年12月 (不納欠損 2件)	100,000円
	令和5年3月 (貸付 5件)	1,500,000円
	令和5年3月 (償還 10件)	425,000円
	令和5年4月 (貸付 2件)	1,000,000円
	令和5年4月 (償還 4件)	200,000円
	令和5年5月 (償還 1件)	50,000円
	令和4年度末現在高	13,030,000円

(2) 住宅新築資金等貸付金債権

人権推進課

債 権 の 目 的	歴史的、社会的理由により生活環境等の安定向上が阻害されている地域の改善を図るため、住宅の新築若しくは不良住宅の改修、又は住宅の用に供する土地を取得しようとする者に対し、必要な資金の貸付を行い、もって公共の福祉に寄与することを目的とする。	
運 用 状 況	令和3年度末現在高	1,530,830円
	令和4年4月 (償還 1件)	45,999円
	令和4年6月 (償還 1件)	45,999円
	令和4年8月 (償還 1件)	46,574円
	令和4年10月 (償還 1件)	46,643円
	令和4年12月 (償還 1件)	46,643円
	令和5年2月 (償還 1件)	46,643円
	令和4年度末現在高	1,252,329円

(3) 土地開発公社経営健全化無利子貸付金債権

財政課

債 権 の 目 的	市が土地開発公社に対して用地の先行取得を依頼し、その財源を無利子で貸し付けるものである。	
運 用 状 況	令和4年度末現在高	717,860,000円